

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 芸術 科目： 美術Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅰ 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1 年次 ① ② ③

教科担当者： ①安部貴住 ②高橋多美子 ③

使用教科書： （ 光村図書 美術Ⅰ ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵 ・ 彫	デ	映							
前 期	表現・鑑賞／絵画「身近なものを描こう」【知識及び技能】画材の使い方・特性を理解し線の強弱やそれぞれの道具の特性を生かして表す【思考力、判断力、表現力等】鉛筆、色鉛筆、パステルの特徴を基に、陰影・色彩表現やハッチングの効果を考え、構想を練る。【学びに向かう力、人間性等】それぞれの画材の使い方、特性、描き方などを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	・モチーフをよく観察し、印象や具体的な表現方法を模索する。 ・それぞれの画材の使用方法を学び、用意したモチーフに合わせて選択し、描画する。 ・鉛筆、色鉛筆、パステル、ガーゼ	○			○	【知識・技能】意図に応じて鉛筆、色鉛筆、パステルなどの特性を生かすとともに、線の強弱など表現方法を創意工夫して表している。 【思考・判断・表現】色彩の濃淡やそれぞれの画材技法のよさや美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】鉛筆、色鉛筆、パステルの特徴を基に、身近な題材や色彩構成について観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	6
	表現・鑑賞／絵画「あなたの風景画」【知識及び技能】空間や遠近感、建築物や植物の質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や水彩絵の具の特性を生かして表す。【思考力、判断力、表現力等】風景画の特徴や美しさなどを基に、画面構成、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。【学びに向かう力、人間性等】風景画の特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	・学校に通ってくるまでの道や、学校内で撮影した写真を基に、水彩絵の具を使ってスケッチする。 ・風景写真（A4サイズ・カラー）、鉛筆、水彩絵の具、筆 ・一人一台端末で他者の作品についての感想を記入しクラス内で共有させる。	○			○	【知識・技能】意図に応じて水彩絵の具の特性を生かすとともに、色彩や画面構成など表現方法を創意工夫して表している。 【思考・判断・表現】他者の作品のよさや美しさを感じ取り作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え見方感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】風景画、水彩画の美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	18
	表現・鑑賞／絵画「空想上の生き物を描こう」【知識及び技能】空想上の生物を描く為に、墨や筆の特性を理解し、効果的な表現方法を模索しながら主題を追求して表現する。【思考力、判断力、表現力等】空想上の生物へのイメージなどを基に、形や質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。【学びに向かう力、人間性等】空想上の生物を墨で表現することへ関心を持ち、創造活動に主体的に取り組む。	・一人一台端末で空想上の生物について調べ、資料を集める。 ・水墨画について理解を深め、白黒で生き物を表現する。 ・墨汁、筆、一人一台端末	○			○	【知識・技能】空想上の生物を描く為に、墨や筆の特性を生かし創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。【思考・判断・表現】墨の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え見方感じ方を深めている。 【主体的に取り組む態度】水墨画と空想上の生物のイメージなどを基に、墨表現の特性や表現方法を踏まえ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	18
	表現・鑑賞／デザイン「コラージュ デクスター探し」【知識及び技能】構図やバランス、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、コラージュの特性を生かして表す。【思考力、判断力、表現力等】フロッタージュを基に主題を決め、組み合わせなどの効果を考え、コラージュの構想を練ったり鑑賞したりする。【学びに向かう力、人間性等】フロッタージュ・コラージュを理解し、構図や組み合わせを表す創造活動に、主体的に取り組む。	・色鉛筆とコピー用紙を使用し、校内でフロッタージュを行い、集めたデクスターチャーでコラージュを行う。 ・コピー用紙、色鉛筆、はさみ、のり、一人一台端末	○			○	【知識・技能】フロッタージュしたモチーフを基に構図や色彩、配置、組み合わせなどの効果や材料の工夫など造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】造形的なよさや美しさを感じ取り、伝えるための創造的な表現の工夫を捉えるなどして見方や感じ方を深めている。 【主体的に取り組む態度】主体的に材料や表現方法などを工夫してコラージュで表す表現の創造活動に取り組もうとしている。		○	○	○	16

後 期	表現・鑑賞／絵画「私の世界」 【知識及び技能】自分の心の中の思いや感情を表現するために、より効果的な表現方法を選択し、主題を追求し、狂言を創意工夫している。【思考力、判断力、表現力等】現在の自分を客観的に観察しながら主体的に主題を生成し、自己を構成しているものを構想し、創造的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】ペン画の特徴などを生かして創造活動に主体的に取り組む。	・一人一台端末を使用し、自己を形成している要素についてまとめ、資料を集める。 ・集めた資料と自分の写真を画面構成し、転写し、ペンで清書する。 ・自分の写真、デザインカッター、のり、鉛筆、黒ペン、一人一台端末	○	○	【知識・技能】形や構成の効果などが感情にもたらす効果や、用いる画像や場面、目的や条件、機能や用途などを考え、全体のイメージで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】現在の自分の構成しているものを表現するための形や色彩、構成の特徴や美しさなどを感じとり、表現の意図と創造的な構想について考え、見方や感じ方を深めている。【主体的に取り組む態度】主体的に主題を生み出し、構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20

合計

78

[illegible]

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 芸術 科目： 工芸Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 工芸Ⅰ 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1～4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①吉田美幸 ②中村馨章 ③中村馨章 ④中村馨章

使用教科書： （ 日本文教出版「工芸Ⅰ」 ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 工芸Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会をより豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
前期	鑑賞「木彫」工芸作品（伝統的・現代的）【知識及び技能】時代ごとの日本の伝統的な工芸作品と技法について知る。【思考力、判断力、表現力等】現代の生活に伝統的な事柄がどのように生きているか考察する。【学びに向かう力、人間性等】自身が生きる現代の日本について、工芸技法の観点から興味を抱く。	【指導項目】東京国立近代美術館所蔵作品を、サイトから鑑賞させる。【教材】プリント【一人1台端末の活用】東京国立近代美術館教育用作品保管ページにアクセスし、鑑賞する。	【知識・技能】一般常識程度の我が国の伝統文化について知る。【思考力・判断力・表現力】工芸品や工芸技法を通して、我が国の伝統文化について興味を深め、自分なりの考えを持つ。【学びに向かう力・人間性等】物事と物事のつながりについて考えをめぐらす。	○	○		2
	表現/鑑賞「木彫」バタナイク【知識及び技能】木の特性、用具の名前などを知り、必要に応じて使い分ける。【思考力、判断力、表現力等】実際に使うことを想定して自分の生活を振り返り、使いやすさについて考える。【学びに向かう力、人間性等】木の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導項目】木材を削りだし、使いやすさとデザインのオリジナリティを追求したバタナイクを制作する。【教材】木材・彫刻刀・万力・鉄やすり・紙やすり・胡桃オイル【一人1台端末の活用】市販のバタナイク製品の調査。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	【知識・技能】木材の特性を知り、技法に生かす。【思考力・判断力・表現力等】「使いやすさ」について、手の構造などから深く構想する。【学びに向かう力・人間性等】休まずに授業に出席し、限られた時間内により良いものを作ろうとする。	○	○	○	18
	表現/鑑賞「ろうけつ染め」ハンカチ【知識及び技能】ハンカチの用途と美しさとの調和を考え、技法の特性を生かした図柄を構想する。【思考力、判断力、表現力等】折りたたんだ時の図柄の出方まで構想に含み、その構想に沿った図案を練る。【学びに向かう力、人間性等】蠟の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導項目】ロウの特性を生かし、布に文様を描く。「防染」の技法補活用して藍染めを施す。【教材】ハンカチ・蠟・蠟溶器【一人1台端末の活用】ろうけつ染めについての調査・図案を練る。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	【知識・技能】ろうけつ染めの歴史を知る。他の防染技法について知る。【思考力・判断力・表現力等】「ろう」の特性を知り、図柄に生かす。【学びに向かう力・人間性等】休まずに授業に出席し、限られた時間内により良いものを作ろうとする。	○	○	○	18
後期	表現/鑑賞「藤」籠編み【知識及び技能】藤の特性、用具の名前などを知り、必要に応じて使い分ける。【思考力、判断力、表現力等】実際に使うことを想定して自分の生活を振り返り、使いやすさについて考える。【学びに向かう力、人間性等】藤の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導項目】藤素材をよく水に濡らし、可塑性を高め、構想した形態を編み上げる。【教材】藤芯材・やつこと・水桶・はさみ【一人1台端末の活用】籠編みの材料や技法の調査。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	【知識・技能】編み目を均一に、なおかつ自分の持ったイメージに向かって形態を整える。【思考力・判断力・表現力等】どのように編めば思った通りの形になるか、考えながら作業する。【学びに向かう力・人間性等】単調な作業に、飽きずに取り組み。	○	○	○	14
	表現/鑑賞「張り子」お面製作【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】お面の伝統的な役割などを知り、現代の生活感に合った「お面」について構想する。【学びに向かう力、人間性等】和紙の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導項目】プラスチック原型に油土でお面の原型を形作り、和紙を糊で貼り重ねる。固まったところで粘土を抜き去ることで軽く丈夫なお面ができる。【教材】油土・ねんどべら・和紙・ボンド【一人一段端末の活用】お面について調査する。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	【知識・技能】和紙の特性を知り、作業に生かす。【思考力・判断力・表現力等】お面の歴史などを知ったうえで、造形的な視点から自分の表現につなげる。【学びに向かう力・人間性等】世界の文化に触れ、興味を深める。	○	○	○	14

表現/鑑賞「ミニチュアの椅子」製作【知識及び技能】人体の仕組みや動作について知り、家具の形態に生かす。【思考力、判断力、表現力等】使いよさと美しさのバランスを考える。【学びに向かう力、人間性等】現実的な形態を用いつつ、想像力を働かせて自由なデザインをする。	【指導項目】サイズを考慮し（実寸の1/10）、座りやすさなど用途を考えてデザインする。木材と紙粘土を用いてモデルを作成する。【教材】角棒（5mm/3mm）・丸棒・接着剤・細密のこぎり【一人1台端末の活用】「椅子・座ること」の調査。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	【知識・技能】考えを形にする。丁寧に作業をする。【思考力・判断力・表現力等】「座る」という行為について深く考察するとともに、造形的な視点を持って美しい形についても同時に考える。【学びに向かう力・人間性等】材料や形態に興味を持ち、自分のイメージに作品を近づける。	○	○	○	12
						合計
						78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 芸術 科目： 工芸Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 工芸Ⅱ 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2～4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①豊浦 愛 ②豊浦 愛

使用教科書： （ 日本文教出版「工芸Ⅱ」 ）

- 教科 芸術
- の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 工芸Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かにに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
前期	表現／鑑賞 木彫：壁掛け時計制作 【知識及び技能】木彫の技法や道具の扱い方を理解し表現させる【思考力、判断力、表現力等】主題にあった構想を練り、それを基にデザイン案を描かせる 【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつめて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】自分のイメージをふくらませ、具体的なデザインにする、又それを木の特性を生かして形にする。 木材・彫刻刀・糸鋸・やすり類・木彫用オイルステイン 【一人一台端末の活用】制作工程を写真で記録し、振り返りに活かす。	【知識・技能】木彫の技法や道具の扱い方を理解し表現できている 【思考・判断・表現】木材の特性を理解し、それを基にデザイン案を描いている 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつめて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	18
	表現／鑑賞 ステンドグラス：自由制作 【知識及び技能】ステンドグラスの作業工程や道具の扱い方を理解し表現させる 【思考力、判断力、表現力等】素材や技法の特性にあった構想を練り、それを基に作品を構想、再作する。【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつめて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】ガラスの色や透明感を観察し、それらを活かす形態を模索する。 【教材】板色ガラス・ガラス切り・銅テープ・はんだ・はんだごて・グラインダー・ゴーグル 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	【知識・技能】材料の特性やや道具の扱い方を理解し、表現できている。 【思考・判断・表現】イメージを膨らませ、構想を練り、それを基に作品を手順通りに制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつめて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	22
後期	表現／鑑賞 ステンドグラス（2作品目） 【知識及び技能】板ガラスの特性や道具の扱い方を理解し表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】様々なイメージを構想し、それを基に立体作品を制作する。 【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつめて計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】ガラスの色や透明感を観察し、それらを活かす形態を模索する。 【教材】板色ガラス・ガラス切り・銅テープ・はんだ・はんだごて・グラインダー・ゴーグル 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	【知識・技能】材料の特性やや道具の扱い方を理解し、表現できている。 【思考・判断・表現】イメージを膨らませ、構想を練り、それを基に作品を手順通りに制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつめて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	24
	表現／鑑賞 染色壁掛け 【知識及び技能】様々な漫画の表現を理解し表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】漫画の画風を会得し、それを基に自画像を描かせる。 【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつめて計画的な学習計画をたてさせる。	【指導項目】染色技法や布の特性を理解し表現に活かす。 【教材】布・染料・筆・パケツ・ろう・ろう溶器 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	【知識・技能】布や技法の特性を理解し表現している 【思考・判断・表現】イメージを膨らませ、構想を練り、それを基に作品を手順通りに制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつめて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	14

						合計
						78

[illegible]

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 芸術 科目： デッサン

教 科： 芸術 科 目： デッサン 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1～4 年次 ① ② ③

教科担当者： ①吉田美幸 ②伊藤由李 ③伊藤由李

使用教科書： （ なし ）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 デッサン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現材料の特性を生かせるよう理解を深めると共に、対象を深く観察したことを基に表現を工夫して的確に表すことが出来る。	深い観察を通して、対象のイメージや空間を把握し、美しさを発見し、その形体や色彩、材質感などの表現が出来る。	主体的に対象を見つめ考察を深めたり、表現材料などを研究し取り入れたりするなど、造形表現を追求している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	時配 数当
			知	技	発						
前期	表現「幾何形体デッサン」鉛筆【知識及び技能】デッサンの姿勢や用具の使用方法を学び描画方法の理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】観察を通して形体の理解を深め、創造的に構想する。【学びに向かう力、人間性等】鉛筆の特性を知り、主体的に制作に取り組む。	【指導事項】幾何形体デッサンを通してデッサンの基本的な考え方、描き方、道具の使用 方法について学ぶ。 【教材】プリント、画用紙、鉛筆デッサン用具、BYOD端末 【一人1台端末の活用】基本的なデッサン用語や鉛筆の削り方などを映像を視聴して理解する。	○	○	○	【知識・技能】描画方法について知る。鉛筆デッサンについて知る。【思考力・判断力・表現力等】鉛筆の特性を知り、対象の形態を理解する。【学びに向かう力・人間性等】休まずに授業に出席し、基礎的な知識の理解を深める。	○	○	○	14	
	表現/鑑賞「グレースケール」鉛筆【知識及び技能】面や明度を理解し、鉛筆を用いてグラデーションを描く。【思考力、判断力、表現力】表現の意図を理解し、特質を理解して描画する。【学びに向かう力、人間性等】描画方法を理解し、作品制作に主体的に取り組む。	【指導事項】グレースケールを通して光源の描き方、道具の使用について学ぶ。 【教材】画用紙、面取り石膏像プリント、鉛筆デッサン用具、BYOD端末 【一人1台端末の活用】共有画像を基にグラデーションと色彩の関係を理解する。	○	○	○	【知識・技能】グレースケールについて知る。鉛筆の描画方法について知る。【思考力・判断力・表現力等】物質の特性を知り、明度表現を理解する。【学びに向かう力・人間性等】表現の意図を理解し、造形表現を追求する。	○	○	○	10	
	表現/鑑賞「静物デッサン」鉛筆【知識及び技能】静物モチーフを通して、空間を表現する。【思考力、判断力、表現力】静物モチーフの特性を理解し、イメージを表現する。【学びに向かう力、人間性等】表現材料を工夫し、個性を生かしながら表現に取り組む。	【指導事項】静物デッサンを通して空間表現の描き方、形態の成り立ちについて学ぶ。身近なモチーフから造形的美しさを理解し、表現する。 【教材】静物モチーフ、画用紙、鉛筆デッサン用具、BYOD端末 【一人1台端末の活用】静物デッサンの資料の解説。作品制作記録。	○	○	○	【知識・技能】身近なモチーフの形態について知り、表現に生かしている。【思考力・判断力・表現力等】静物デッサンの特性を知り、素材に合わせた表現方法を工夫している。【学びに向かう力・人間性等】主体的に対象を見つめ、造形的感覚を高めている。	○	○	○	22	
	表現/鑑賞「石膏デッサン」木炭【知識及び技能】木炭の特性を理解し、深く観察して対象を描く。【思考力、判断力、表現力】表現方法を理解し、特質を理解して描画する。【学びに向かう力、人間性等】描画方法を理解し、主題を生成し、作品制作に主体的に取り組む。	【指導事項】木炭デッサンを通して石膏像の描き方、道具の使用について学ぶ。石膏デッサンから造形的美しさを理解し、表現する。 【教材】石膏像、木炭紙、木炭デッサン用具、BYOD端末 【一人1台端末の活用】共有画像を基に石膏像の歴史と素描表現の関係を理解する。作品制作記録。	○	○	○	【知識・技能】石膏像について知る。木炭の描画方法について知る。【思考力・判断力・表現力等】木炭デッサンの特性を知り、素材に合わせた表現方法を工夫する。【学びに向かう力・人間性等】主体的に対象を見つめ、考察を深める。	○	○	○	22	

[illegible]

高等学校 令和7年度 教科

芸術

科目 写真

教科： 芸術 科目： 写真

単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1～4 年次 ① ② ③

教科担当者： ①星山 剛一 ②星山 剛一 ③伊藤 由李

使用教科書： （ 無し ）

教科 芸術	の目標：
【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 写真 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
写真・カメラの基礎基本、原理を理解し、表現に合わせた撮影技術や制作（印刷）する力を身につける。	目的に合わせた操作や工夫、シャッターチャンスを探い、自分の意図した表現に向かって試行錯誤する。制作（印刷）では構図や色階調によって表現が変化することを理解し自分の表現や感性を追求する姿勢を身につける。	カメラや写真表現の面白さに気づき、講義や講習、実習、グループワークに主体的かつ協調性を持って取り組むことで他者とのコミュニケーションをとる力や互いに尊重しあう姿勢を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			撮 影	選 抜	印 刷						
前 期	表現・鑑賞／鑑賞「写真の基礎基本・写真の原理と歴史」 【知識及び技能】写真の原理であるピンホール効果やカメラの仕組みや歴史を理解する。【思考力、判断力、表現力等】カメラを実際に触り、構造や仕組みを体験的に理解する。【学びに向かう力、人間性等】様々な教材に興味を持ち、講義の内容について主体的に学姿勢を養う。	【指導事項】カメラの原理と歴史について体験的に学ぶ。実際にカメラを手に取り、構造や仕組みについて理解する。 【教材】プリント、トレーシングペーパー、デジタル一眼レフカメラ、フィルムカメラ				○	【知識・技能】写真の原理や仕組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ピンホール効果やカメラを実際に触ることで原理や構造を体験することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】講義内容に興味を持ち、主体的に取り組もうとしているか。	○	○	○	8
	表現・鑑賞／撮影・選択「シャッタースピードと絞りの効果」 【知識及び技能】三脚・一眼レフカメラの操作方法を理解し目的に合わせた撮影をする。【思考力、判断力、表現力等】シャッタースピード、絞りを調節し自分が面白いと思う表現を撮影し、選択する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的にグループワークを行う。	【指導事項】デジタル一眼レフカメラを使いシャッタースピード速い・遅い、絞り 大きい、小さいによって写真がどのように変化するかを知る。実際にグループに分かれて4パターンの撮影を行う。【教材】デジタル一眼レフカメラ、三脚、プリントSDカード、BYOD端末 【一人1台端末の活用】撮影したデータから印刷する作品を選択する。	○	○		○	【知識・技能】道具の使用方法を理解しているか。シャッタースピードと絞りの効果を理解しまた撮影しているか。 【思考・判断・表現】シャッタースピードと絞りによって変化する表現の撮影に成功しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】協調性を持ってグループワークを行っているか。他者の作品を鑑賞し、様々な表現があることを理解したか。	○	○	○	12
	表現・鑑賞／撮影「スタジオ撮影・ライティングの効果」 【知識及び技能】ライティングやリリース、フィルムカメラの使用方法を学び撮影を行う【思考力、判断力、表現力等】カメラマンとしてモデルやアシスタントに指示を出し自分の表現したい作品を目指す。 【学びに向かう力、人間性等】グループワークに主体的に取り組む。	【指導事項】スタジオ撮影機材、ライティングの効果を理解し。黒バック、白バック、教室の3つのパターンで撮影をグループで行う。 【教材】プリント、フィルムカメラ、フィルム、リリース、スタジオ機材、デジタル一眼レフカメラ、三脚、プリントSDカード	○			○	【知識・技能】ライティングの効果とフィルムカメラの操作について理解し、撮影を行えているか。 【思考・判断・表現】ライティングやモデルにポーズを指示を出し自分が面白いと思う作品を表現しようとしているか。 【主体的に取り組む態度】カメラマンやアシスタントとしてグループでの撮影を主体的に行えているか。	○	○	○	12
後 期	表現・鑑賞／印刷「暗室実習」黒バック、白バック、教室の引き伸ばし。 【知識及び技能】暗室の注意事項、引き伸ばし機の使い方を理解し写真を現像する。現像の手順を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ネガの中から自分の好きな作品を選び、引き伸ばす。色の濃さを調整する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に現像作業を行う。作品完成後、他者の作品を鑑賞し、様々な表現を味わう。	【指導事項】7月に撮影したフィルムのネガを使い、暗室で引き伸ばし作業（写真を現像する）を行う。完成した作品を鑑賞し講評会を行い、展示準備をする。 【教材】ネガ、暗室機材、現像液、エプロン、印画紙、プリント		○	○	○	【知識・技能】暗室機材の使い方や現像の手順を理解しているか。 【思考・判断・表現】ネガの中から自分の気に入った作品を選択し現像する。選択した作品を表現に合わせた階調に仕上げているか。 【主体的に取り組む態度】主体的に作業に取り組んでいるか。他者の作品を鑑賞し、様々な表現があることを知ることができたか。	○	○	○	12
	表現・鑑賞／撮影「望遠レンズ・マクロレンズの効果」 【知識及び技能】望遠レンズ・マクロレンズの効果を知る。【思考力、判断力、表現力等】レンズの特性を考えながら校内で撮影する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的かつ協調性を持って撮影を行う。	【指導事項】望遠レンズ・マクロレンズを使い、グループに分かれて撮影を行う。 撮影データから自分の気に入った作品を選択する。【教材】デジタル一眼レフカメラ、三脚、プリントSDカード、BYOD端末 【一人1台端末の活用】撮影したデータから印刷する作品を選択する。	○	○		○	【知識・技能】望遠レンズとマクロレンズの効果を理解したか。 【思考・判断・表現】レンズの特性を考え撮影をし、感性を働かせて作品を選択しているか【主体的に取り組む態度】主体的に撮影に取り組んでいるか。	○	○	○	10
	表現・鑑賞／撮影「セルフポートレート」 【知識及び技能】フィルムカメラ、ライトの使い方を理解し、操作する。【思考力、判断力、表現力等】自分自身を表現することを考え、工夫し撮影をする。 【学びに向かう力、人間性等】主体的かつ協調性を持って撮影を行う。	【指導事項】自分自身を表現することを考えて「白バック」、「背景と私」、「大人と私」の3種類の撮影を行う。 【教材】プリント、フィルムカメラ、フィルム、リリース、デジタル一眼レフカメラ、三脚、プリント、SDカード	○			○	【知識・技能】カメラや機材の使い方を理解し撮影しているか。 【思考・判断・表現】自分自身を表現するために考え、ポーズや構図、背景を工夫をしているか。 【主体的に取り組む態度】主体的に作業に取り組んでいるか。	○	○	○	12
	表現・鑑賞／印刷「セルフポートレート」 【知識及び技能】暗室の注意事項や機材の使い方を理解し、操作する。【思考力、判断力、表現力等】ネガの中から自分の感性に合った作品を選択し、表現に合った階調に現像する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に現像作業を行う。作品完成後、他者の作品を鑑賞し、様々な表現を味わう。	【指導事項】・現像されたネガから自分の気に入った物を暗室で引き伸ばす。完成した作品を鑑賞し講評する。展示準備をする。【教材】ネガ、暗室機材、現像液、エプロン、印画紙、プリント					【知識・技能】暗室機材の使い方や現像の手順を理解しているか。 【思考・判断・表現】ネガの中から選択した作品を表現に合わせた階調に仕上げているか。 【主体的に取り組む態度】主体的に作業に取り組んでいるか。他者の作品を鑑賞し、様々な表現の良さに気づくことができたか。	○	○	○	12
				○	○						合計 78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 芸術 科目： 陶芸

教 科： 芸術 科 目： 陶芸 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1～4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①安部貴住 ②星山剛一 ③金子 朋加 ④

使用教科書： （ なし ）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 陶芸 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、陶芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や焼き物の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。	主体的に陶芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり陶芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、陶芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会をより豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身 社 賞鑑	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	表現/鑑賞「手びねり」【知識及び技能】手びねり技法で作られた器の用途と美しさとの調和を考え、技法の特性を生かした器を構想する。【思考力、判断力、表現力等】実際に使用した時まで構想に含み、その構想に沿った図案を練る。【学びに向かう力、人間性等】陶土の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】手びねり 玉づくりーぐい飲み制作 紐づくり マグカップ制作【教材】陶土・ボウル・霧吹き・ヘラ・手ろくろ・釉薬【一人1台端末の活用】参考作品閲覧。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	○	○				20
	表現/鑑賞「たたらづくり」【知識及び技能】伝統技法を学び、たたらづくりについて知る。【思考力、判断力、表現力等】技法を生かした表現方法について考察し、制作の構想を練る。【学びに向かう力、人間性等】技法の特性を学び、表現する際にも意図に応じて制作に生かす。	【指導事項】たたらづくり 花器 組皿制作【教材】陶土・ボウル・霧吹き・ヘラ・たたら板・切り糸・下絵具・釉薬【一人一台端末の活用】参考作品閲覧。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。		○	○			19
	表現/鑑賞「電動ろくろ」【知識及び技能】電動ろくろ技法で作られる器の用途と美しさとの調和を考え、技法の特性を生かした器を構想する。【思考力、判断力、表現力等】実際に使用した時まで構想に含み、その構想に沿った図案を練る。【学びに向かう力、人間性等】陶土の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】電動ろくろ 茶碗制作【教材】陶土・ボウル・霧吹き・ヘラ・電動ろくろ・切り糸・釉薬【一人一台端末の活用】東京国立近代美術館教育用作品保管ページにアクセスし、鑑賞する。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	○	○				19

後 期	表現/鑑賞「自由制作」題材自由【知識及び技能】陶土、釉薬の特性、用具の名前などを知り、表現に応じて技法を使い分ける。【思考力・判断力・表現力等】実際に使うことを想定して自分やまわりの生活を振り返り、使いやすさについて考える。【学びに向かう力、人間性等】陶土の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】電動ろくろ 茶碗制作【教材】陶土・ボウル・霧吹き・ヘラ・電動ろくろ・切り糸・釉薬【一人一台端末の活用】参考作品閲覧。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	○	○	【知識・技能】これまでの授業で学んだ陶芸の特性を踏まえ、自己の表現に生かす。【思考力・判断力・表現力等】他者や自分が使用する場面を具体的に構想し、自己の表現につなげる。【学びに向かう力・人間性等】技法の特性に合わせた表現の工夫をし、制作に生かす。	○	○	○	20
									合計
									78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 芸術 科目： 彫金

教 科： 芸術 科 目： 彫金 単位数： 単位

対象年次・講座： 2～4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①吉田 美幸 ②安部 貴住 ③吉田 美幸

使用教科書： （ 無し ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 彫金 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
前 期	表現／鑑賞 鋳造のシルバーリング制作 【知識及び技能】ワックスの性質や道具の扱い方を理解し表現させる【思考力、判断力、表現力等】主題にあった構想を練り、それを基にデザイン案を描かせる【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけて貼り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】イメージを膨らませ、アイディアを構想させる。ワックスの性質を生かして指輪をデザインする。 【教材】アイディアスケッチ用紙、三面図、指輪用ワックス、サイズゲージ、スパチュラ 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	【知識・技能】ワックスの性質や道具の扱い方を理解し表現できている 【思考・判断・表現】主題にあった構想を練り、それを基にデザイン案を描いている 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている	○	○	○	24
	表現／鑑賞 ロウ付けの指輪製作 【知識及び技能】ロウ付けの技法や道具の扱い方を理解し表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かな発想や表現の工夫について考える。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に使う人の思いや願いなどから見方や感じ方を深める創造的な活動に取り組ませる。	【指導項目】自分の指輪のサイズを計測し、必要な材料の長さを計算する。金属をなます方法を体得する。 【教材】銀平角線・定規・棒やすり・フラックス・銀ろう 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	【知識・技能】金属材料や道具の扱い方を理解し表現できている。 【思考・判断・表現】主題にあった構想を練り、それを基に工程を実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	14
後 期	表現／鑑賞 カトラリー製作 【知識及び技能】金属材料や道具の扱い方を理解し表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】言葉から様々なイメージを構想し、それを基に作品を制作する。 【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてさせる。	【指導項目】デザイン、転写、金属切り抜き、成形、刻印、なまし、ロウ付け、やすり掛け、磨き 【教材】真鍮板材・銀板材・糸鋸・棒やすり・作業台・けがき・ガスバーナー・銀ろう・フラックス 【一人一台端末の活用】制作工程を記録する	【知識・技能】金属材料や道具の扱い方を理解し表現できている。 【思考・判断・表現】様々なイメージを構想し、それを活かした作品を制作し、作業手順を守って制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	26
	表現／鑑賞 七宝焼きのブローチ 【知識及び技能】七宝材料や道具の扱い方を理解し、表現に活かす。 【思考力、判断力、表現力等】イメージを構想し、具体的なデザインや形態にする。 【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてさせる。	【指導項目】銅板の加工、裏引き、表引き、銀泊張、施釉、焼成 【教材】銅板・裏引き絵の具・銀箔・七宝絵の具・銀線 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	【知識・技能】七宝焼き技法の特性を理解し表現している。 【思考・判断・表現】様々なイメージを構想し、それを生かした作品を作業手順を守って制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	14

						合計
						78

科目： デザイン基礎

单位数： 2 单位

使用教科書：（なし）

の目標：

芸術に関する各科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

の目標：

[illegible]